

16. 令和5年度 長野県てんかん地域連携体制整備事業活動報告

信州大学医学部附属病院てんかん診療部門 福山 哲広

1. 概要

令和2年10月1日から長野県てんかん支援拠点病院として活動をしている。理念は「てんかんに負けない地域を作る」である。現在てんかん専門医2名（小児科医1名、脳神経外科医1名）、てんかん診療支援コーディネーター1名（看護師）で活動している。

令和4年10月1日付で日本てんかん学会から包括的てんかん専門医療施設およびてんかん専門医研修施設に認定された。

2. てんかん診療実績

- (1) 週2回のてんかん専門外来を行い、令和5年度4月～1月の新患者は97名、延べ患者数は1432名であった。
- (2) 長時間ビデオ脳波件数は、令和3年度は54件、令和4年度4月～1月は48件であった。
- (3) てんかん症例検討会を月に1回行っている。検討症例は自院のみならず、長野県内の他医療機関からも受け付けている。参加者は小児科医、脳神経外科医、精神科医、脳神経内科医に加えて、放射線科医、遺伝科医、生理検査技師、心理士、言語療法士、作業療法士、看護師である。自施設にてんかん専門医が少ないため、静岡てんかん・神経医療センター井上有史先生、臼井直敬先生、大阪公立大学脳神経外科宇田武弘先生、北里大学脳神経外科師田信人先生にもアドバイザーとしてご参加いただいている。
- (4) 令和5年度の当院でのてんかん外科手術は16例で、海馬扁桃切除術5例、焦点切除術3例、脳梁離断術3例、迷走神経刺激装置植込術1例、頭蓋内電極留置術（SEEG）4例であった。

3. てんかん相談業務

ホームページに電話番号および相談フォームを公開して、てんかんに関する相談を受け付けている。令和5年度の新規相談件数は38件で、当事者12件、患者家族9件、医師7件、MSW5件、福祉関係支援者2件、教育関係1件、難病相談支援センター1件、その他1件であった。相談内容は医療と就労関係が多かった。

4. てんかん普及啓発活動

- (1) ホームページ管理
- (2) 令和5年6月25日（日）に「てんかんと共に生きる」をテーマにてんかん県民講座を開催。会場一般参加者56人、演者、スタッフ17人、オンライン参加115名。年末。
- (3) 令和5年3月26日にパープルデー信州2023を開催。今年度は令和6年3月パープルデイプルデー信州2024を開催予定。

かん医療提供体制検討会議)
令和5年2月20日にハイブリットで開催した。

● 構成員 (五十音順・敬称略)

氏名	区分	所属・職名
大久保 千鶴	家族	親の会えんがわ 代表
荻原 朋美	医療	北アルプス医療センターあづみ病院 副診療部長 こころのホスピタル事業部長
金谷 康平	医療	信州大学医学部脳神経外科 講師
田澤 浩一	医療	長野赤十字病院神経内科 部長
永原 正裕	当事者	日本てんかん協会長野県支部 (長野県上田養護学校 教諭)
福山 哲広	医療	信州大学医学部小児医学教室 准教授
矢崎 健彦	行政	長野県精神保健福祉センター 所長
森 浩二	医療	長野県医師会 総務理事 (欠席)

● 事務局

氏名	所属・職名
北原 理恵	信州大学医学部附属病院 てんかん支援コーディネーター
近藤 大貴	健康福祉部医師・看護人材確保対策課 主査
亀井 智泉	長野県医療的ケア児支援センター 副センター長
山田 玲子	産業労働部労働雇用課 雇用対策係 主事
井坪 信	教育委員会事務局特別支援教育課 指導主事
高田 かおる	警察本部交通部運転免許本部東北信運転免許課
宮島 有果	健康福祉部保健・疾病対策課 課長
高橋 正俊	同 課長補佐兼心の健康支援係長
檜尾 文香	同 心の健康支援係 保健師

8. その他

長野県内の学校等で使用する「てんかん発作時の薬剤投与指示書」の作成を行い、活用を開始した。